



※ま〜ブルとは？
創心会デイサービスで使用している
施設内通貨のこと。単位：ま〜ブル

創心会で使用されている施設内通貨の活用法のお知らせ

創心会ま〜ブル宝くじ発売
売れ行き好調!当選発表は1月7日

創心会には「あっぱれ提案シート」という現場スタッフからの声を反映させる制度があります。今回はその制度を使った、デイサービススタッフからの提案「ま〜ブル宝くじ」をご紹介します。

この提案は、ご利用者様にとにかく楽しんでいただきたいという気持ちが一番でした。創心会の全デイサービスで実施し、6000枚のくじが発行されました。驚くほどの反響があり、飛ぶように売れています。今回の反響を受け、夏にも同じ企画をする予定となりました。1月7日には当選発表会が行われ、最高当選額1000ま〜ブルの当選者が決定します。



最高当選額 **1000** ま〜ブル

■ 宝くじは、ま〜ブルが当選するものとスタッフ考案のサービスが獲得できるものの2種類がある。

椎茸選手権優勝者決定!!
～ 椎茸選手権にかける想い～

優勝者のインタビュー



優勝された山本慎次様

Q いつごろから始めましたか？

A 菌床が買えるようになってすぐ始めました。
(平成24年12月始め)

Q 今回の椎茸選手権で優勝されましたが、椎茸をたくさん育てる秘訣は？

A 温度・湿度の管理です。温度18℃、湿度70%を保つようにしています。ガラスケースに菌床を入れベランダに置き、快適な環境に保つ為、ビニールをかぶせたりして工夫しています。場合によっては加湿器も使います。一週間くらいで出はじめ、3日置けば収穫できる大きさになります。1つの菌床で10個くらい収穫できます。

Q 逆に難しいところは？

A 朝・昼・夜と温度や湿度管理をしなくてはならないところ。デイサービスに来ている時は確認できないので、朝しっかりみておきます。

Q これから菌床を育てる方へ、又は育てている方へのアドバイスをお願いします。

A 愛情を持って、朝・昼・夜と管理してみてください。

椎茸の育成は、創心会とNPO法人未来創造舎和〜久が連携し、ご利用者様がま〜ブルを使用して気軽に社会参加できるものです。ご利用者様の育てた椎茸が加工され、店頭に並ぶのです。とてもわくわくしませんか？しかも椎茸を育てる事はとても面白く、日を追うごとにすくすくと成長します。この取り組みをもっと多くの人に知って頂くために選手権が企画されました。さらに、選手権で優勝する方はとても椎茸育成に長けている方なので、今まさに椎茸を育ててみようとしてされている方はその方のコツを参考になさってみてください。この選手権を通じて、様々な育て方のコツを集約していき、さらに多くの方が椎茸に携わることが出来ればと考えております。



心から
創心会から



あけましておめでとうございます
謹んで新春のお慶びを申し上げます

特集
平成25年

新年の抱負

- 01 創心会デイサービスの取り組み
- 02 訪問看護：小児リハの現場から
- 03 施設内通貨の新しい利用法

特集
平成25年

新年の抱負



株式会社 創心會
河崎 崇史

創心會 「在宅におけるケア革命」

創心會は、感謝 × 感動 × 革新の3Kを実践し続け、在宅におけるケア革命を起こすことを目標としております。平成25年もひたすら、個々の成長と組織としての包括的ケアシステムの構築・提供・普及活動に邁進して参ります。平成24年は、ご利用者様にむけて、施設内通貨制度、大祭り、旅りハなど新しいシステムを提案し、現場の自主性を尊重し合える風土も併せ、社内全体が大いに盛り上がっております。この熱い想いのままに平成25年も創心會は誰にとっても心豊かな生活の実現を目指します。

未来想造舎和〜久 「障がい者の雇用促進」

未来想造舎和〜久が目指すものは、障がい者の雇用促進事業、特に現役世代（40～60代）で障がいを負った人が“就業”という社会参加を果たし、生活主体者へと回帰していく仕組みの形成です。

平成25年は、その第一歩として、現在行っている配食サービスを就労継続A型※1に、そして、椎茸加工を就労維持B型※2に変えていきます。また、笠岡にて、グループ会社と根性ファームの作業を就労継続B型※2で受託し、福祉と農業のコラボレーションを実現します。

※1障がい者と雇用関係を結び、最低賃金を保障する。2006年施行の障害者自立支援法で制定。
※2企業などで就労することが困難な障がい者に、雇用契約を結ばずに就労の機会を提供する。

合同会社 和〜久 根性ファーム 「農業と福祉の融合」

ど根性ファームの企業目標は、就労支援の拡大と、若者による農業のイメージアップを図ることで日本の農業に活気を取り戻すことです。

農業と福祉のコラボレーションを実現させるために、ど根性ファームの特徴ともいえる20～30代を中心とした若いスタッフで、フットワーク軽く柔軟な姿勢で取り組んでいます。

平成24年は、農業を安定して行える基盤を整えました。本年は、福祉との融合を目指し、就労支援事業を始めます。

NPO 法人未来想造舎和〜久
合同会社と根性ファーム
山田 浩貴

ハートスイッチ 「人財育成と自己実現の支援」

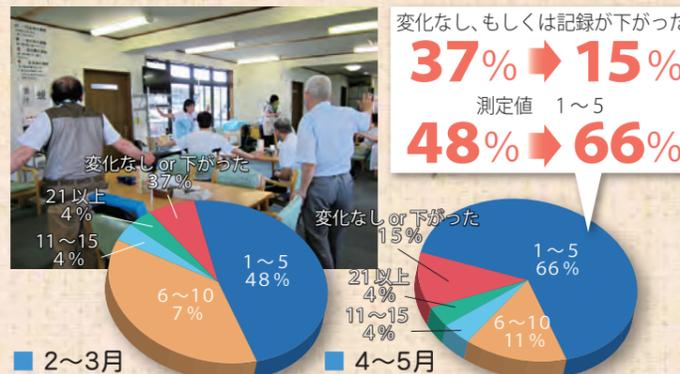
ハートスイッチは、スタッフ全員が介護現場経験者であり、また管理監督の経験も積んでいるので、現場の様々な状況を体験した上でのサービスが提供できます。その強みを活かし、特に質の部分のニーズに応えるべく、ヘルパー養成講座やコンサルティングなどでは、サービスの技術力と共に洞察力や観察力にも力を入れ、芯から介護人財になれる育成に取り組んでいます。

ハートスイッチの企業目標は、医療介護業界の人財育成・輩出・紹介、及び事業支援を通して、その全ての方に目標を達成していただくことです。平成25年は、その目標を達成するため、新しくなる各資格研修事業の立ち上げと並行して、3月より障がい者就労移行事業を開始し、グループ全体で高齢者・障がい者の方々の社会参加支援を積極的に行います。



株式会社 ハートスイッチ
葉田 勉

01 創心會デイサービスの新しい取り組み 創心會リハビリ倶楽部 吉備の取り組み スロートレーニング&環境負荷歩行



スロートレーニングの効果

創心會リハビリ倶楽部吉備では、転倒しない身体づくり、歩行の為の下肢筋力・能力づくりのために、太極拳の動きを取り入れ、一定のリズムの中でゆっくりと体を動かし、筋力にアプローチを行う「スロートレーニング」というバランス訓練体操を開発しました。グラフは、毎月実施している身体機能訓練の「片足立ち」の秒数の変化を表したものです。赤色の部分「変化なし、もしくは記録が下がった」という方が、37%から15%にまで減り、ほとんどの方の記録が好転し、バランス能力が向上しています。

環境負荷歩行の目的

いくら平地の環境で安定して歩行できたとしても、一步屋外に出れば、様々な環境が待ち受けています。創心會リハビリ倶楽部では、ご利用者様のADL訓練において「どんな環境にも適応できる能力」を身につけて頂くことを目的に、施設内にあえて障害を作って、不安定な環境での歩行訓練「環境負荷歩行」を行っています。施設内でのリハビリが、ご利用者様のご自宅での活動にしっかり還元できるように、「環境負荷歩行」のような実践的なアプローチメニューを考案するよう日々取り組んでいます。

02 創心會訪問看護より：小児リハの現場から

重度心身障がい児 Y君は、約10年間の長きにわたり創心會のサービスを利用されています。

重度心身障がい児とは、重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児童を指します。Y君が創心會のサービスを開始したきっかけは、ご家族の知人が創心會の訪問看護（リハビリ）を利用されており、その方からのご紹介によるものでした。約10年間という長期間の関わりの中には、歴代先輩スタッフの皆さんの実績が輝いています。髄膜炎後遺症による水頭症・てんかん発作があるY君。ご利用を開始された当初よりご家族の方は、今後の介助・介護に大きな不安を持たれており、将来的には身体機能の向上・座位の安定、そし

て歩けるようになって欲しいと切に願われていました。私たちの熱い想いと、ご家族の積極的な関わりで、現在では成長に合わせて表情が豊かになり、発語も聞かれるようになりました。現在成長期の真っ只中のY君。訪問するたびに身長が伸び、四肢も長くなっています。私とY君とのお付き合いも半年。今ではリハビリが終わり帰る際には「バイ」と笑顔で手を振って挨拶してくれます。ご家族はY君と共に、歩行という目標に向かって頑張られています。今後もご本人、ご家族との信頼関係を築きながらY君の「できる」を見つけて行きたいと思えます。



さよならの挨拶「バイ」のたっち



取材中にも笑顔を見せてくれたY君